

## 回 答 書

NO	質問内容	回答
1	<p>仕様書2-(5)</p> <p>実施場所となる青少年の家については、原則、全6か所すべての家で本事業を実施するものと考えてよいか。</p>	<p>全6か所で実施する必要はなく、1か所または数箇所での実施を想定しています。</p> <p>なお、実施にあたっては、仕様書3(6)のとおり、本事業は青少年教育等の知識・技能を有する者(青少年の家の指定管理業務の経験を有する団体等)が行うことを想定しており、青少年の家の管理運営に精通する者を事業総括責任者として配置することを求めています。</p>
2	<p>仕様書2-(5)</p> <p>同項目の注記にある「複数を組み合わせる」とは、事業内容に応じて、複数の青少年の家をまとめ1か所で実施するなどのイメージで合致しているか。</p>	<p>6か所の青少年の家のうち、数箇所を利用してプログラムを実施することを想定しています。</p>
3	<p>仕様書3-(2)</p> <p>無料塾での学習支援に加えて、更に個人の学力に応じて、追加支援を行うイメージで合致しているか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
4	<p>仕様書3-(2)</p> <p>支援を行う場所は、青少年の家に制限されているのか。</p> <p>より個別支援が受けやすい場所等を任意に定めることは可能か。</p>	<p>青少年の家を拠点とした上で、仕様書3(1)のとおり、プログラムの内容に適した場所等の利用も可能です。</p>

5	仕様書3-(2) 支援の頻度は、どの程度を想定しているか。	仕様書2(4) 事業実施期間にもあるように、2回以上の体験活動等(学習支援を含む)を行うことを想定しています。
---	----------------------------------	---